

島谷ひろのり

議会レポート



プロフィール

- 出身: 青森県八戸市
- 生年月日: 昭和 55 年 2 月 13 日
- 学歴: 八戸工業高等専門学校 (電気工学科) 卒業
- 家族: 妻と長女・次女の 4 人家族
- 現住所: 日野市旭が丘 2 丁目
- 趣味: 野球観戦、ランニング、山登り

みんなの想いを力に変えて確かな未来を創る!!

平成 30 年第 2 回日野市議会定例会が、6 月 1 日から 6 月 19 日まで開催されました。今議会では平成 30 年度日野市一般会計補正予算 (第 1 号) の審議を中心に活発な議論が交わされました。一般質問は 23 名の議員が行い、島谷ひろのりは、「災害に強いまちづくり」「下水道管路の更新状況と災害対策について」等、市の考え方や将来の取り組みについて一般質問を行いました。

今回のレポートでは、市長の行政報告を始め島谷ひろのりの一般質問などご報告させていただきます。

I. 市長の行政報告及び、本議会で審議された議案について

- ① 日野市ホームページをリニューアル
- ② 旭が丘地区センターをリニューアルオープン
- ③ 日野市・国分寺市・小金井市 3 市ごみ減量推進市民会議設置へ向けた協定を締結
- ④ 災害医療器具保管庫が完成
- ⑤ 子育て施策の充実
- ⑥ 日野から世界へ「ひの新選組まつり」開催

■平成 30 年第 2 回定例会
議案等審議結果についての詳細は
日野市議会 HP へ。

<http://www.city.hino.lg.jp/shigikai/gian/1000873.html>



II. 島谷ひろのり一般質問 (抜粋)

1. 「災害に強いまちづくり」下水道管路の更新状況と災害対策について問う

① 下水道管路の老朽化対策と耐震化対策について

●島谷ひろのり議員

下水道管路の老朽化対策や耐震補強などの「更新工事計画」の優先順位付けについて市のこれまでの取り組みを伺いたい。また、「公的避難所」までの下水道管路の調査や施工状況について伺いたい。

◆日野市

「老朽化対策」については、平成 24 年度策定「日野市下水道長寿命化計画」に基づき進行してきた中で、平成 28 年度の国の支援制度の変更に伴い、「下水道ストックマネジメント計画」*1 に移行。日野市では平成 29 年度に同計画を策定し、汚水管本管内の調査を平成 30 年度より実施する。

「耐震化対策」については、「避難所の排水を受ける管路」など重要な管路に位置付けられる部分については、管が破損しても機能を確保することで対策を検討している。

平成 28 年度に避難所等からの排水を受ける管路等重要な管路の耐震診断を実施し、耐震化対策が必要となったマンホール 52 基についてマンホール浮上抑制工事を平成 30 年度より実施する計画である。

※1「下水道ストックマネジメント計画」とは

下水道事業におけるストックマネジメントとは、下水道事業の役割を踏まえ持続可能な下水道事業の実施を図るため、明確な目標を定め膨大な施設の状況を客観的に把握評価し、中長期的な施設の状況を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理すること。

「島谷ひろのり」ホームページ リニューアルのお知らせ

5 月より「島谷ひろのり」ホームページをリニューアルしました。過去に発行した活動報告紙もダウンロードできます。

市政や生活に対するお問合せはお気軽にご連絡ください。

編集・発行：島谷ひろのり後援会

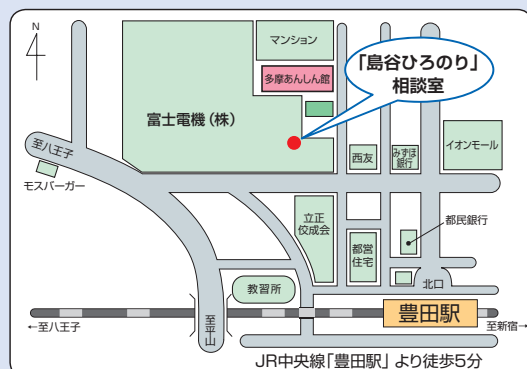
住所：東京都日野市富士町 1 番地
TEL:042-582-3005 FAX:042-581-0133
E-mail:shimaya-kouenkai@fujielectric.com
HP <http://www.shimaya-hironori.com>
f <https://www.facebook.com/shimaya.hino>



ひろのりWeb



facebook



豊田駅近く、富士電機東京工場東門より徒歩 1 分です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

②日野市における地震発災時のトイレ対策について

●島谷ひろのり議員

各避難所に設置される各種災害用トイレの台数について、及び災害直後の管路調査などによりトイレが使えない期間を含めた日野市の対応方法を確認したい。

◆日野市

災害等によりトイレ機能が失われた場合に備えて災害用マンホール型トイレ 43 基、簡易トイレ 541 基、簡易トイレ用トイレ袋 9,100 枚を指定避難所※3 28 カ所に分散して備蓄を行っている。

簡易トイレは災害初動期等の下水道管渠の使用可否が確認できるまでの間を使用するものとし、その後下水道管渠使用が可能であることが判明した際は災害用マンホール型トイレを使用する。

災害時の最大避難者想定数約 64,000 人に対しては大幅な不足が生じるため、「日野市災害時トイレ整備方針」※4 の策定を進めており、今後は計画等に基づき、災害用トイレ設備の充実を図っていく。

※3 指定避難所

日野市内小中学校 25 校及び、ふれあいホール、平山健康・市民支援センター、百草台コミュニティセンターを加えた計 28 カ所

※4 「日野市災害時トイレ整備方針」

発災後を直後・中期・長期の概ね 3 期間に分類し、各期間で有効な災害用トイレ設備と必要数量および設置個所、整備にあたっての庁内役割分担等を明示することで更なる充実を図る方針。

③「災害時」の企業との連携充実について

●島谷ひろのり議員

発災時に様々な事象を「柔軟に早く判断」することを迫られるときに、想定外の対応をすることは判断に遅れを生じさせる。現在、市内大規模事業者各社と締結している「災害時協力に関する協定」※6 の内容を更に充実させる必要があると考えるが、市の見解を伺いたい。

案 1) 企業敷地内でも誰でも使える簡易トイレの設置やマンホールトイレの設置場所の確保

案 2) 物資の保管場所や公的避難所で発生したゴミなどの一時退避場所としての協力

案 3) 企業内の公衆電話※7 の設置有無の把握及び、周辺に無いエリアには「企業内に新規設置」する方向性についても企業側と協議

◆日野市

市に災害が発生した場合には人力及び重機車両の支援を受ける体制を構築しているが、物資不足及び人員不足等々、現在の市の体制で脆弱な部分の補完を進めて行く必要があると考えており、新たな協力体制の構築を模索してまいりたい。

※6 「災害時協力に関する協定」

現在の協力内容は主に「避難所としての施設利用」及び「飲料水等の供給」となっている。また、市内事業者（土木業、建築業、造園業、電気業及び水道業）で構成される日野市災害対策協力会とも協定を締結しており、市に災害が発生した場合には人力及び重機車両の支援を受ける体制を構築している。

※7 災害時の公衆電話の機能

公衆電話は災害時優先電話として位置付けられているため、通常の電話よりもつながりやすい。

東日本大震災時は東京都内でも多くの帰宅困難者や避難が必要な方々が列を作った。

2. 高校生の声も地域活性化に活かす「若者議会」先進事例について問う

●島谷ひろのり議員

日野市では、大学とは「相互協力・連携に関する包括協定」の締結し活発な交流を行っている。一方、日野市内の高校との連携は大学ほど進んでいない実情だが、日本の将来を支える「若者」に一人でも多く「地域と共に成長する機会」を提供することは非常に重要であると考えている。

他自治体の先進事例「若者議会」条例を参考に、日野市での実現の可能性について伺いたい。

◆日野市

次の世代を担う高校生に日野市の魅力を伝え、愛着を持ってもらうことで、シティセールスや定住人口の確保に繋げることに加え、さらに高校生の自由な発想は市の施策や事業に活かせる可能性が高いことから、高校生を地域の貴重な人材として認識する必要があると考えている。

この他自治体の「若者議会」を日野市で実現するためには、市民の意見を代弁し、予算の議決権を有する市議会との調整を含め、調査研究が必要である。

このため、今まで行ってきた事業や取り組みについて検証を行い、日野市の実情にあった若者との連携について手法の検討を積極的に進めてまいりたい。

愛知県新城市「若者議会」条例の取り組み

愛知県新城市では、条例により諮問機関として若者会議を設置し、16 歳から 29 歳の若者が約 1 千万円の予算の具体的な使い道について、自らが考え政策を立案する取り組みが行われている。

具体的に図書館リノベーション事業や健康づくり事業など、実際の予算を伴った事業が提案され、実際に取り組みが始まっている。

■ 一般質問の録画中継は日野市役所 HP で視聴できます。

<http://www.hino-city.stream.jfit.co.jp/>



島谷ひろのり活動記録（4月～6月）

各種講演会への参加や専門家の方々との意見交換。また、地域での交流イベントにてお会いした方とお話しさせていただいた中で見えてきた課題などを一つずつ整理しながら、一般質問に向け準備を進めてまいりました。引き続き、皆さまとの対話から見えてくる課題に対し誠心誠意努めてまいります。